

ひかいっこニュース



安中ひかりこども園 第20号
 発行者：岡内郷子 2023, 12, 8

12月5日に餅つきをしました！！前日、5歳児がもち米を洗い浸水し、当日の朝に調理さんに蒸し上げてもらいました！！ホカホカのもち米を臼と杵を使ってつくと「わあ、なんか白い煙（湯気です）あがってる！！」「いい匂い〜」「お米の匂いする！！」「あれが、杵なんや。ピコピコハンマーですると思ってたあ〜！（笑）」などなど、思ったことを思い思いにつぶやいていました。そして、5歳児がペアになって杵をもち、「ぺったん！ぺったん！」と周りの子どもたちが声を合わせながら、にぎやかに餅つきをしました。ついたお餅は、すぐに学年ごとに触ったり、こねたりしながらつくたての餅の感触を楽しみました。新年になったら、こども園の玄関に鏡餅として飾る予定です。伝統文化にふれることができた一日になりました！



調理さんも餅つきにチャレンジ！！子どもたちから「頑張れ〜」と応援してもらい杵をもつ手に力が入ってました！！



乳児の子どもたちも、餅つきの様子をじっと不思議そうに眺めていました！！



5歳児がペアになって、杵をもって餅をつきました。どの子どもも緊張しながらも楽しそうにっていましたよ。



1年越しの憧れの餅つきだったようです(笑)

つくたてのお餅を「ふわふわする」「あったかい」と言いながら気持ちよさそうに丸めていました

＊ ＊ ちよこつと豆知識 ＊ ＊

日本でははるか昔から、稲は神聖な食べ物として考えられてきました。稲から収穫するお米は、生命力を高める食べ物として大切に扱われています。お餅は、お米よりも生命力がより強いとされお祝い事などでお餅つきをするようになったのが由来です。年末は、12月25日～28日にお餅つきをするのが一般的で「9」につく日は、「苦」を連想させるため、12月29日は避けるようにしているようですよ

